



「生きがい」につながる事業の推進を

町長＝介護予防ボランティアの育成事業を計画

問

町民は「日々
の生きがい」
を求めています。

現在、町が実施して
いる町民の「生きがい」
につながる事業と、今
後実施が予定される事
業は。

町長

町では、高
齢者学級や
趣味の講座、ふれあい
サロン事業や町民が自
主的に行う事業を支援
する「元気のでる地域
づくり支援事業」を実
施しています。
今後、介護予防ボラ
ンティアとして活躍し
ていただくための、育
成事業を計画していま
す。

問

田島地域中心
部には、温泉
がありません。

温泉施設などがあれ
ば「日々の生きがい」
になります。
町の考えは。

町長

田島地域中
心部に、温
泉施設を建設する計画
はありません。
既存の温泉施設を利
用して頂くため、本年
7月1日から町内70歳
以上の高齢者を対象
に、「元気のでる地域
に、温泉等利用助成事業」
を実施します。

「文化の薫る町」にするために

教育長＝町部局と連携し、各種施策を進める

問

教育長の考え
る「文化の薫
る町」とは。

教育長

芸術文化活
動だけでなく、保
存伝承され、活用され
ている町であると考え
ます。

教育長

平成22年
当時、町民
の使用料を100%減
免していましたが、一
部利用者のマナーの低
下が見受けられまし
た。
また、利用団体が集
中したので、抽選で利
用を決定してきた結
果、不満がでる事態に
なり、減免率を50%に
改定したものです。
改定後は、このよう
な問題は解消されてい
るので、使用料の負担
は、同館を気持ちよく
利用いただくために必
要であると認識してい
ます。

問

文化振興の拠
点に位置づけ
る御蔵入交流館の、使
用料の無料化または減
額を求める声がありま
す。
町の考えは。

その他の質問

・ICT時代の教育、学校の姿について



地域文化振興の拠点を担う「御蔵入交流館」